

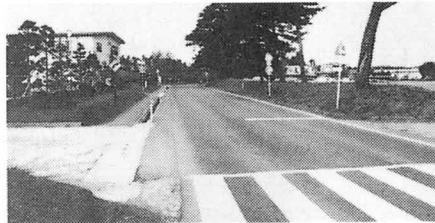
のま
野馬のすんでいたころ (120年前ころ)

明治

120
年
前
ま
で

高松 (いまの藤倉^{ふじくら}ゴムのあるところ) の県道にそつて、いまでも大きな松のなみ木がのこっています。

いまからおよそ120年前ころまでは、この松なみ木のつづく道を、どのさまがかごにゆられて通



いまものこっている松なみ木 (高松)

りました。そのころ、新田橋から南の道にそつて店がたちはじめました。それが、いまの小川町や本町です。

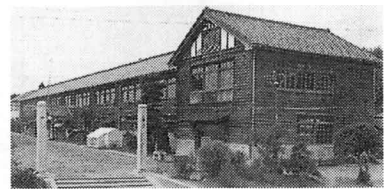
本町から南のほうは、いちめん野馬^{のま}原^{はら}で、いまの四ツ^よ葉^ば通^{とお}り^りのか^はど^だと、羽山岳^{はやまだけ}のふもとに木戸^{きど}がありました。

木戸には、木戸もりがいて、野馬に水や食べものをやり、野馬をまもっていました。野馬^{のま}土^ど手^てにかこま

れたところに馬がはなしがいされていきました。いまは町の中心になっ



原^{あさひこうえん}一小から旭公園あたりもぞう木林で、野馬が水をのんだ小川も大町や栄町、橋本町などを通つて流れていきました。



むかしの大甕小学校

(しゃしんは、昭和になってからのもの)

- ・野馬原の野馬がとりつくされる。(1872年)
- ・いまの石神^{おおみか}や大甕^{おおた}、太田に小学校ができる。(1873年)